

1964年6月23日根室南東方沖地震の被害について*

釧路地方気象台

550.346

6月23日10時27分頃、釧路では震度Ⅳの地震が起り、若干の被害を生じたので報告する。

(この地震に津波は伴はなかった)

地震による被害

1) 道警釧路方面本部調査による被害 (昭39.6.25 現在)

種 別	内 容	備 考
人的被害	負 傷 1	中標津で生徒が地震待避のため 2階からとび下りる。
物的被害	商店に陳列の瀬戸物類落下し若干被害あり	

2) 通信施設の被害 (昭39.6.25. 釧路電気通信部調査)

種 別	数 量	備 考
電話線障害	17 回 線	市外線 (弟子屈—中標津) 11回線 } 共に17 ^h 25 ^m 回復 市内線 (中標津線) 6回線 }

3) 電気関係の被害 (昭39.6.25. 北海道電力釧路支店調査)

種 別	数 量	備 考
ト リ ッ プ	2 件	本別発電所・北見変電所にてトリップ (約1分で回復)
停 電		釧路・浜中・標津・厚岸・白糠・西別線の一部 (共に約1分で回復)

4) 鉄道関係の被害 (昭 39.7.7. 釧路鉄道管理局調査)

種 別	数 量	備 考
列 車 遅 延	27本	根 室 本 線 14本 最大遅延時分客車 65分 貨車 171分 釧 網 本 線 6本 // 62分 // 144分 池 北 線 2本 // 35分 // 24分 士 幌 線 2本 // 20分 // 9分 標 津 線 3本 // 79分 // —
列 車 運 休	12本	根 室 本 線 別当賀—根室間 4本・厚床—根室間 2本・釧路—根室間 1本 標 津 線 中標津—根室標津間 2本・中標津—標茶間 1本・中標津—厚 床間 2本
築 堤 変 状	9 個 所	根 室 本 線 別当賀—落石間 5 個所 延長最大700m・沈下量最大100cm 標 津 線 中標津—上武佐間 2 個所 延長最大130m・沈下量最大15cm 協和—春別間 2 個所 延長最大146m・沈下量最大 3 cm

* Kushiro L. M. O. : Damage Caused by the Earthquake southeast off Nemuro on June 23, 1964
(Received Aug. 14, 1964)



別当賀一落石間の築堤の崩れ
(根室保線区撮影)



別当賀一落石間の築堤変状によりレールが
歪んでいる状況 (根室保線区撮影)



同 上



釧路市内の瀬戸物店に
おける瀬戸物の落下
(釧路新聞社提供)